

## 教育委員会 5 月定例会会議録

平成 22 年 5 月 25 日（火）

9：30～11：30

創遊館会議室

出席委員    1 番 小林道和 委員長  
              2 番 登坂高典 委員長職務代理者  
              3 番 柴田泰子 委員  
              4 番 堀 浩一 委員

職務のため出席した者の職氏名

教育長 安藤昭郎  
教育文化課長 若月加代子  
課長補佐 花山 護  
主幹 奥山勝弘  
課長補佐 佐竹壽美（書記）

### 1. 開 会

教育文化課長の進行により小林委員長の開会宣言及びあいさつ

### 2. 会議録署名委員の指名

4 番 堀 浩一委員を指名した。

### 3. 前回議事録の確認

委員長の指示で 4 月定例教育委員会の会議録を朗読し全員異議なく承認

### 4. 教育長の委任事項の報告

（1）日程的な事項

（2）当面の日程

**委員長** 5 月 15 日から 16 日の「最上川縦断カヌー探訪」の主催者である N P O 「ぶなの森」はどのような団体か。

**教育長** 大谷小学校長岡昇校長を中心として団体で、長岡氏が「農業が死んでいる。最上川を観光に活かさない点はない。この最上川を活かすに最上川縦断カヌー大会全国大会を開催したい。行政が入ると話が進まない。何年後になるかわからない。このため N P O を立ち上げて実施した。」との考えである。

**2 番委員** 清野町長の時に国土交通省からカヌーランドの建設をしていただいた。当時、県が最上川の調査をし、魚の生息、築の杭など詳細な図面をつくった。カヌーはポピュラーではなかった。N P O、町課長会、県カヌー協会、カヌークラブ代表が集まって話し合ったことがある。全国区にしたいとの考えが県の考え方であった。朝日村のボンジ川が月山ダム建設

により使えなくなったことによるものであった。川に関することは県の河川課、川以外については町でやってほしいことから、町では難色を示した。

雪谷、栗木沢など、点の整備だけが行われた。現在は川通～明鏡橋が全国区で使われている。寒河江・大江と広域での活用を考えたが、真中の水路があり断念した。

全国区とすれば町民あげて取り組まなければならない。行政が主導権を取らないとやっていけないのではないか。県が頑張っているときにできなかったのは残念である。

**委員長** カヌーランドは行政がつくったのか。

**2番委員** そうです。

**教育長** 最上川の調査データは素晴らしいものである。どこにあるのか。

**2番委員** 町とNPOエコミュージアム協会にあるはずである。インターネットでも見れると思う。

**委員長** 最上川を舞台に定期的なイベントはしていないのか。

**2番委員** 町としてはしていない。

**教育長** 最上川をスポーツの場としては普及していない。普及するのも大切なことではないのか。

**4番委員** カヌー協会が山形県に活動の場を移したいとの情報がある。

**2番委員** 当時、玉ノ井カヌーランドは見る場所や駐車場を整備し維持体制も検討されている。旧和合小学校跡地も活用できるであろうなど、夢のような話があった。町民がカヌーに対し熱がなかった。県カヌー協会は谷地高等学校や寒河江高等学校でカヌーで活躍している人がいると言っていた。

**3番委員** 町民がカヌーに対して燃えていない。町民でカヌーをしている人は一人しかいない。町が何で燃えないのか。川遊びが文化として発達してこなかった。いかだ下りは町民あげての大会であったが、今回は何もなかった。盛り上がりがなかった。

**委員長** いかだ下りは全国大会か。主催は。

**3番委員** 全国大会であった。主催は一步会であった。

**教育長** 旗振りをする人がいない。

**奥山主幹** カヌー協会との連携が必要ではないか。組織をもっているところとの連携が必要である。

**教育長** 小学校を対象に広げていくこともあるのではないか。カヌーでなくゴムボートでもよいのでは。

**奥山主幹** 寒河江ダム建設を機に西川町ではレースカヌーやレジャーカヌーの普及をしていた。その後、組織を作りながら普及をしている。行政の仕事として進めないと普及は難しい。町の人から理解を得るには乗ってもらうことである。

**委員長** 普及することも一緒に進めていかなければならない。

**4番委員** カヌーはドキ隊や学年行事でやったことがあるが、次につながらない。

## 5. 報告事項

**教育文化課長** ①寄付採納について 説明

**奥山主幹** ②教育委員学校訪問について 説明

**教育長** 文教委員との懇談会に校長の参加をお願いしたいが。

**2番委員** 小学校3校構想時は、議会文教委員と行政の相互理解に立つことから、年2回ほど協議を行っていた。

**委員長** 総務文教委員との懇談会に校長を含めてよろしいでしょうか。

**全員** (異議なし)

**佐竹補佐** ③西村山地区駅伝競走大会結果について 説明

**委員長** 小体連陸上大会で持久走にチャレンジする子が少なくなっている。

**奥山主幹** ④N R Tの結果について 説明

**教育長** 一部の学校にN R Tの落ち込みがある。中学校は全教科にわたって伸びている。学校の対応が良かったのか。

**奥山主幹** 昨年度は別室登校、不登校の生徒が十余名おりいました。今年度は別室登校の生徒もテストを受けています。

**委員長** 意欲が上がっているようである。分析の結果は、後日の教育委員会で報告願いたい。

**教育文化課長** ⑤緊急雇用事業として教育委員会に臨時職員配置について 説明

## 6. 附議事件

**委員長** 議第14号「朝日町教育事務評価委員の委嘱について」説明を求めた。

**教育文化課長** 別紙議案書及び資料に基づき提案した。

**教育長** (委員候補の経歴などについて補足説明)

**委員長** 各委員に諮り原案のとおり決定した。

## 7. 協議事項

### 教育文化課長

(1) 西村山教育委員協議会朝日町大会の内容について原案説明

**委員長** 原案のとおり進めてよろしいでしょうか。

**全員** (了承)

### 教育文化課長

(2) 総務文教委員との研修及び懇談会について

**委員長** 原案のとおり進めてよろしいでしょうか。

**全員** (了承)

(3) 次回の教育委員会定例会を6月25日(金)午前9時30分から創遊館で開催することに決定した。

(6) その他

**奥山主幹** 平成23年度採択予定の小学校教科書を6月1日から11日まで創遊館ギャラリーで展示しますのでご覧ください。

以上、協議し、１１時３０分に５月定例会の会議を閉じた。

閉 会

会議録署名委員

委 員 長

調 整 委 員      佐 竹 壽 美